

平成27年度一般財団法人富山勤労総合福祉センター事業計画

1 運営方針

平成27年度の日本経済は、消費税増税の影響からの回復傾向が見られるものの、先行きは不透明な状況である。

このことから、当財団を取り巻く経営環境は今後とも厳しい状況が続くと予想されるが、各施設においては独立採算制を基本に、徹底したコストの削減を行う一方、それぞれの施設の特色を生かした魅力ある事業の展開や真心のこもったサービスを提供することにより、北陸新幹線の開業効果を最大限生かし、集客の向上に努める。

(1) 呉羽ハイツ

依然厳しい経営環境の中、集客力、収益力を高め安定経営を目指すためには、多様化するお客様のニーズにあわせ、魅力ある施設を作り上げていくことや質の高いサービスの提供が求められており、新たな投資活動を計画的に実施するとともに、真心のこもったサービスやおいしい料理の提供に引き続き努める。

また、県内の利用客の確保のため渉外活動を一層強化するとともに、北陸新幹線の開業による新たな需要に対応した魅力ある企画づくりに取り組み

- ① 魅力ある周辺環境を活用した特色ある企画づくり
- ② 新たなサービスを提供するため、施設の一部改装
- ③ 地元の新鮮食材を生かした美味しい料理の提供
- ④ 「おもてなしの心」を基本とした質の高いサービスの提供

等を行う。

(2) とやま自遊館

平成23年度に策定した「とやま自遊館経営改善計画」の最終年の目標達成に向け、北陸新幹線開業に伴う新たな顧客の確保等による売上の増と経費の節減に努める。

また、リフレッシュプラザにおいては、公益目的事業として、引き続き勤労者をはじめとする県民の健康増進のための事業等に取り組む。

さらに、「ヤングジョブとやま」については、若者の就業支援に係る企画運営業務を引き続き国及び県から受託し、若者の雇用確保に積極的に取り組む。

また、「とやまシニア専門人材バンク」に係る企画運営、普及啓発業務を受託し、高齢者の就業支援等を行う。

2 重点実施事項

(1) 呉羽ハイツ

① 利用率の向上

- ア. 県内外の旅行者に対して、積極的に売り込む一方、インターネットに対応したプランを充実させ集客に努める。
- イ. 県内企業や各種団体に対しての渉外活動を強化するとともに、減少傾向にある法要利用への渉外についても強化する。
- ウ. 県内産の新鮮食材を使った季節ごとの特別料理企画を実施し、誘客に努める。
- エ. スポーツ、文化関係の合宿誘致に積極的に努める。

② 利用者へのサービスの向上

- ア. レストラン内にオープンキッチンを新設し、調理仕立てのお料理を提供し、顧客満足度を高める。
- イ. レストランの一部を改装し、家族連れや小グループでの利用に適したスペース(一部個室化)を作り、お食事を楽しんでいただく。
- ウ. 法要式場のPRを積極的に行い、法要利用の掘り起こしを図る。
- エ. お盆や年末年始に各種イベント(夏祭り・年越しそば・新年餅つき大会等)を実施する。

③ 職員研修

- ア. フロント員をはじめ応接職員を各種研修会に参加させ、利用者へのサービス向上を図る。
- イ. 調理師の技術向上のため、施設内外での調理研修会に参加する。
- ウ. 定期的に防火訓練を実施するとともに、職員の防火意識を高め安全・安心な施設づくりを行う。

(2) とやま自遊館

① 利用増に向けた誘客・広報活動

- ア. オープン以来開設しているビアホールについては、新たなイベントなど魅力的な企画を実施し、更なる誘客に努める。
- イ. 景気の影響が少ない祝事、法要宴会等の受注に努める。特に法要については平日の割引サービスを行うなど、受注拡大のためセールスを行う。
- ウ. 引き続き商品券を販売し売上を確保するとともに、予約獲得を目指す。
- エ. 週末に比べ利用の少ない平日夜間や閑散期の誘客策として、お得なプランを企画・提供することにより利用増を図る。
- オ. 北陸新幹線開業効果を生かすために、県外客向けにホームページ等において自遊館の良さを積極的にアピールし、インターネットによる宿泊予約を推進し客室稼働率の向上に努める。

カ 新聞、ラジオ、専門雑誌等の媒体を利用した広告を行うとともに、季刊誌（ちやお）やホームページを刷新するなどの広報活動を展開する。

② おもてなしの心が実感できるサービスの提供

ア 職員研修等を通じ、お客様本位のサービスに徹する職員意識の高揚を図る。

イ 富山の食材を使った越中料理や自遊館の特色である和洋折衷料理などお客様のニーズに合った多彩なメニューを企画・提供する。

ウ シーズン割引プラン、宴会付割引プランなど利用しやすい宿泊プランを提供する。

エ 県内著名作家による絵画・書の作品展等を開催する。

③ 健康増進に係る事業の実施

ア 県内医療機関と連携した健康づくりサポート（運動療法、メディカルフィットネス、リハビリ支援等）を実施するとともに、生活習慣病の防止・改善や介護予防等を目的とした運動プログラムの提供を行う。

イ 指定運動療法施設としてのメリットを生かした事業を展開し、新たな利用者ニーズの掘り起こしを図る。

ウ マシンを増設するとともに、多施設の差別化を図るため、レストランとタイアップした特典を付けることにより、入会者の増加と退会者の減少を図る。

エ 企業等と連携して、生活習慣病予備軍対策や退職者を対象としたプランを打ち出し、利用者増を図る。

④ 経営改善への取り組み

ア 27年度の経営改善計画目標の達成に向けて、しっかりとした進行管理を行う。

イ 23年度からの経営改善の実績を踏まえ、28年度からの新たな計画を策定する。

ウ 設備保守管理委託料等を見直し、経費の削減を図る。

⑤ 職業教育、職業相談等の提供

ア ヤングジョブとやま

若者の就職に関する情報提供やカウンセリング、セミナー、トレーニング、職場見学、職場体験等を行う。

イ とやまシニア専門人材バンク

就労を希望する専門的知識・技術等を有する高齢者を対象とする人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援する。

3 利用人員等目標

(1) 呉羽ハイツ

平成 27 年度は、利用人員 150,600 人（前年目標対比 100.0%）、営業収入 7 億 5,265 万円（前年目標対比 101.0%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 27 年度 目標人員 a	平成 26 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	15,700	16,000 (14,700)	▲300
宿 泊	25,500	25,700 (24,500)	▲200
宴 会	46,100	45,000 (45,600)	1,100
休 憩	19,800	19,800 (19,900)	0
レストラン	12,500	12,500 (11,300)	0
喫茶・売店	27,000	27,700 (25,400)	▲700
そ の 他	4,000	3,900 (3,900)	100
合 計	150,600	150,600 (145,300)	0

(2) とやま自遊館

平成 27 年度は、利用人員 328,500 人（前年目標対比 99.1%）、営業収入 6 億 9,691 万円（前年目標対比 97.5%）を目標とする。

（単位：人）

区 分	平成 27 年度 目標人員 a	平成 25 年度 目標人員 b（見込）	比較 a-b
会議・研修	12,300	12,500 (11,700)	▲200
宿 泊	10,800	10,600 (10,600)	200
宴 会	28,300	27,500 (26,600)	800
レストラン	85,500	88,000 (82,400)	▲2,500
ホ ー ル	48,000	47,500 (47,200)	500
リフレッシュプラザ	115,800	116,800 (114,200)	▲1,000
マガジヨとやま	23,700	25,000 (22,600)	▲1,300
シニア人材バンク	1,800	1,600 (1,700)	200
そ の 他	2,300	1,900 (2,200)	400
合 計	328,500	331,400 (319,200)	▲2,900